

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	河川総務一般事務	会計名称	一般会計			担当課	土木管理課			
		予算科目	8 款	3 項	1 目	事業番号	3630	所属長名	鍋田豊樹	
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）						担当責任者名	土居正英		
法令根拠等	河川法						実施期間	【開始】	令和／平成 18 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造							【終了】	令和	年度(予定)
	潤いのある水環境づくり								☒	設定なし
総合計画における本事業の役割	ポンプ場及び樋門等河川施設の整備推進、適切な維持管理を行うための経常経費を計上し、適切な河川環境づくりを側面から支援する。									
事業の対象	市民				事業の目的	国交省、愛媛県、他市で構成されている協議会、同盟会に参画して、更なる知識向上を図る。				
事業の内容（整備内容）	四国河川協議会、重信川石手川治水同盟会に参画。市管理河川の一般的事務事業。				評価事業としないこととした理由	本事業は河川関係に関する一般事務であり、消耗品や公用車のガソリン代のほか、河川関係各協議会の負担金のみで経常経費であることから、評価事業になじまない。				

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項 目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項 目	単位	前 年度実績	2 年度予定	9月末の実績	2 年度実績
財源内訳	直 接 事 業 費	126	150	0	0	0	143	需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費）	千円	16	40	11	33
	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0						
	県 支 出 金	0	0	0	0	0	0						
	地 方 債	0	0	0	0	0	0						
	そ の 他	0	0	0	0	0	0						
	一 般 財 源	126	150	0	0	0	143	負担金	千円	110	110	110	110
職員の人工（にんく）数		0.05	0.05				0.05						
1人当たりの人件費単価		7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費＋人件費		526	541				534						
主な実施主体		直接実施		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
						150	150	150	150	150	750		

事務事業評価（CHECK）

自己判定（担当責任者）	事業の成果	河川の維持管理に必要な公用車のガソリン代等の需要費及び、関係市町で構成する河川関係協議会・同盟会の負担金（年会費）について、適切に支出した。					
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する		判断の理由	治水及び大規模氾濫に関する減災対策に係る各種協議会・同盟会の費用であり、事業継続とする。		

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐			
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	